FIOSAKA Vol. 26

2010年(平成22年)8月30日発行 発行者: 大阪府釣りインストラクター連絡機構 **http://www.jofi-osaka.com** 本部: 大阪府東大阪市中小阪1-5-20 tel06-6729-9485 fax06-6729-9457 広報部: 大阪市北区天神橋3-8-15-301 tel06-6358-4414 fax06-6358-4445

ご挨拶

## (社)全日本釣り団体協議会への正会員団体加入と 副会長就任のご挨拶

來田 仁成 (大阪府釣りインストラクター連絡機構代表)

南米ペルーの沖合いで発生したラニーニヤ現象の影響で、 日本の太平洋岸の水温が高くなり、猛暑が続きます。大阪 湾の水温も平年とくらべ1℃近くも高くなっています。

ところでラニーニヤ現象というのが、よくわからなかったので調べてみると、南米のアンデス山脈から吹き降ろす東の風が強いとき、沖合いの温かい潮が東に流され、岸沿いの底に潜流している冷たい潮が湧昇してくる現象だということです。

つまり私たちが日ごろから調べている大阪湾の水質調査 で、北東の風が吹き続けると、風裏にあたる岸壁沿いに、 貧酸素の潮が湧昇してくるのと同じことなのです。

大阪湾の魚が、釣りが滅びてはならないという思いを公的機関に科学的データで示して説得するこれがわたしたち釣り人の大切な仕事のひとつです。そこで JOFI 大阪の主要なメンバーのかたがたに、NPO 釣り文化協会に登録していただいて、こうしたムーブメントを展開しているわけです。JOFI 大阪と釣り文化協会が、なにか別組織であると考えておられるかたも多いかと思いますが、釣りインストラクターのみなさんがやるべきことの一部分を、水産庁以外の公の諸機関の援助を得て実行するための機関でもあることを、あらためて認識しておいていただきたいと思っています。

さて、そうした活動の中核である JOFI 大阪が、この春から全釣り協の正会員団体として公式に登録を終えました。

釣り場の秩序を守り、マナー、ルールを一般の釣り人に 伝えるという、全国の公認釣りインストラクターの活動が、 ようやく高い評価を得るようになり、水産庁の方針と連動 して、(社)全日本釣り団体協議会を通じて、そのための委 託事業が実施されるようになったからだというふうにご理 解いただいてよいかと思われます。

一昨年夏からはじまった大阪港の立ち入り禁止問題も、 大阪市当局のご理解を得て、全面的な立ち入り禁止という 事態は避けることができました。そして、立ち入り禁止区 域と、立ち入り禁止としない区域が明確になり、それに加 えて、従来釣り禁止であった港湾緑地を多目的に利用して 釣りができるようにする動きも続々と進捗しています。



また、一昨年来行われていた裁判も、ようやく、人工護 岸の管理者の責任でない部分と、釣りという行為を自から の意思で行っている釣り人の自己責任の確認というかたち の新たな判例が出され、今後のこの種の問題の方向性が打 ち出されました。

こうした、自治体等との交渉も、やはり釣り人の全国的な組織で法人格を持つ(社)全日本釣り団体協議会が存在してこそ、窓口になり得ます。単なる任意団体では公式的な協議に参加して意見を申し述べることすら不可能だったことも認識して頂きたいのです。

わたしたち趣味の釣り人の団体は、それぞれの会員が楽しく自分の釣りができればそれでよしとする思いでまとまってきました。しかし社会的にさまざまな制約が生じる現代では、釣り大会が無事にできた、PRのためのイベントができたというだけでは済まないのです。

上部団体に参加しても何の利益もないという声をよく聞きます。

公から予算をもらってきて、それを各地にまくばるのが 上部団体の役割だなどという古いタイプの認識もまだ残っ ています。そんな面倒な作業をだれが担当するのか、など とは考えたこともなく、ただ不満だけを並べ立てるのが、 釣り人の常の姿でした。

このたび、(社)全日本釣り団体協議会の副会長をお引き受けすることで、会員のみなさまには、より一層のご負担をかける可能性もあり、密かに怖れていますが、釣り人の立場を確たるものにするための捨石として、頑張ってみたいと考えています。ぜひとも皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 第6回「大阪湾フォーラム」が開かれました(3/6)

3月6日土曜日、咲洲にあるアジアトレードセンターにて、 大阪湾見守りネット主催「第6回大阪湾フォーラム」が開か れました。午後から ATC の 11 階グリーンエコプラザにて大 阪湾パネル展、14時からシンポジウムがありました。今年 から釣り文化協会の水質調査員となられるお仲間をお誘いし て参加しました。

シンポジウムのテーマは「埋立地海岸線の自然再生をめざ して」で、コーディネーターは鍋島靖信氏(大阪府環境農林 水産研究所) と岩井克己氏 (NPO 環境教育技術振興会)。発



表は野鳥園の石井正喜氏が最初 としては充実した内容となりました。 に行ない、東京湾のアマモの育 成プロジェクトの海つくり研究 会の木村尚氏の他、市民グルー プからの発表があり、行政側か らは大阪府港湾局と国土交通省 近畿地方整備局から、干潟再生 事業や生物共生型護岸など取り 組みの発表がありました。

シンポジウムの前に、今年から水質調査 員となられる方の講習を行ない、研修会



今回のシンポジウムのサブテーマとして<生物多様性、市 民と行政のパートナーシップ>というものが上げられていま したが、市民グループからは「もう何十年も私たちはモニタ リングをやってきた。その結果も既に出ているというのに、 行政はいまだにその結果を取り上げずに、現在も調査を続け ている最中だと言う、そういう姿勢は許せない」という手厳 しい意見もありましたが、最後をまとめた来田代表が述べた 通り、「そういうことも含めて将来に向けて意見交換ができた」 有意義なフォーラムであったと思います。 (報告: 萱間)



## 「平成 22 年度 JOFI 大阪定期総会」を開催 (3/14)

平成22年度の定期総会は3月14日、ダイワロイネット ホテルで開催しました。代表の挨拶の後、議長に辻哲男氏 を選出、審議に入ります。議案「平成21年度収支決算報告」 では総会関係の費用等の計上方法に提案があり、次年度か ら役員会で検討し提案を実施することとしました。「平成

22 年度収支予算計画案」では広報誌 関係費等のについての費用計上も予 算化が必要であるとの意見があり、 案を承認し役員会で検討するとしま した。

総会終了後、来賓の農林水産庁資 源管理部沿岸沖合課海面利用班企画 係の山崎一郎釣り専門官から「釣り 人の事故防止対策と釣り場のモラル 保全に釣りインストラクターが果た すべき役割と目標について」と題し 記念講演がありました。

懇親会は野崎美佐雄事業部次長の

司会で行われ、各支部長から会員の紹介と新年度への抱負、 これからの活動について表明するとともに、山崎釣り専門 官からは大阪港立入禁止条例問題での話題が上がり、また 大阪市会の権田議員との意見交換など、親睦がより深まる 懇親会でした。 (報告:物部)





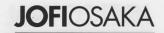
## 5/1 から港湾緑地の一部を釣り場として開放 (大阪市)

大阪市は2月4日から3月8日までに募集した大阪港湾緑 地の開放に関するパブリックコメントの結果(賛成355反対 1計 356 通)をうけて、3月 26日付で大阪市海浜施設条例 施行規則、大阪港スポーツアイランド施設条例施行規則の一 部を改正。「咲洲コスモ海浜緑地東側」と「舞洲シーサイド プロムナード西側」の2箇所が、5月1日から釣り場として 開放されました。

「咲洲コスモ海浜緑地東」は咲洲北向き東角にあたる延長 約 215mに高さ 1.1mの安全柵があり、夏以後のアジ、イワ

シなど回遊魚のシーズンには地下鉄で行けるファミリー釣り 場として期待されています。「舞洲シーサイドプロムナード 西側」は従来からあるシーサイドプロムナードに続く場所で、 安全柵つきの延長 230mを予定していますが、そのうち 80 mが開かれました。残りの 150mは現在改修工事中で、10 月ごろから全面開放になる予定です。

大阪市では引き続き、現在工事中の鶴浜緑地 150m、コス モスクエア海浜緑地西側(夢咲トンネル入り口上)340mの 開放を検討中です。(報告:来田)



# 報告4

## 大阪市立南港魚釣り園に於けるインストラクター活動 G.W. は「こどもの日釣り大会」ほか多彩なイベントを開催しました (5/2-5)

JOFI 大阪インストラクターの活動拠点として「南港・魚つり園」があります。ここで実施している「日曜日の巡回釣り指導」は今年度で5年目に入りました。

年間に活動するインストラクターの延べ人数は 250 名を数 え、市民が釣りに親しむ第一歩の案内役として、釣りの素晴らしさや楽しみ方を伝えることを、少しずつですが確実にやって来れたと思います。

また、この場所での活動が基盤となり、大阪港湾緑地の釣り場解放、大阪港の釣り場利用に於けるルールづくり、大阪港湾のゴミ掃除などの活動につながってきたことは確かです。 今後もインストラクターの皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

さて、今年度前半の南港魚つり園での活動ですが、普段の日曜日に於ける「巡回指導」は徐々に参加者を増やしておりますが、今年は特にゴールデンウィークに力を入れて大きなイベントを行いましたので、まとめて報告します。

### 5/2「釣り具のリサイクル&修理教室」

G.W. 初日は「釣具のリサイクル&修理教室」を開きました。 この日は巡回指導を行ないつつ、日陰に机を出して釣具の修

理屋です。場内放送で呼びかけると、 さっそく使用中の竿が折れたという少 年たちがやってきました。折れた部分 を応急に瞬間接着剤でつなぎ合わせ、 糸を巻き、トップガイドを取り替えて …いろんな方法を覚えて大急ぎで釣り に戻って行きりました。これからも時 折開催する予定です。



### 5/3~4「GW スペシャル "活きエビ探り釣り"入門教室」

全国的に快晴となったゴールデンウイーク。大阪南港魚釣り園では、3日~4日に「GW スペシャル "活きエビによる探り釣り"入門教室」を開催しました。





まったく釣りがじはじめての人も多かったのですが、 竿の扱い、エサの指し方など1から指導しました。

ここ数年の釣り人気 の高まりでしょうか、 初日は募集 20 人のと ころ、受付1時間前に は既に 100 人近い方が 並ばれていました。ほ とんどは釣りが初めて の方なので、「定員いっ ぱいですから、勝手に 釣りをして下さい」と は言えません。急きょ、 貸し竿を増やし、仕掛 けを作り、生きエビを 買い足しに。39組140 人の方に探り釣りの講 習を行ないました。待 たせた方もありました が楽しんで頂いたようです。 釣果は 10~18cm のガシラが主体でした。





2日目は準備万端待ち構えました。この日も盛況で釣り場は大にぎわい。探り釣り入門教室には38組79名が来られました。毎度のことなのですが、「どうしたら釣れるの?」と質問を多く受けました。「今の時期はサビキ釣りでは釣れません、底か壁を狙って生き餌で探り釣りをして下さい」とアドバイス。それを聞いて、サビキの一番下のハリに青イソメを付けて、ガシラが釣れた!と喜んだ顔を見せてもらえたのは嬉しかったですね。釣果は、ガシラ10~18cm9匹、ベラ20cm1匹、アブラメ10cm3匹、ハゼ10cm1匹。根魚は元気でした。

### 5/5「こどもの日釣り大会」

GW の最終日は「こどもの日釣り大会」です。この日はこどもが主役。釣れた魚を全て表彰の対象とすることにしました。1匹長寸で1位、2位、3位、他参加賞など。釣果よりも、



参加した釣り人全員が楽しく遊んで、釣り人同士仲良くなることが目的です。10 時より売店前のテントで釣った魚の検寸を実施。釣れた魚は、ガシラ、メバル、ハゼ、セイゴ、ハネ、アイナメ、カレイ、タコなど。中でも 24cm のメバルは立派でした。ガシラが多く、全体で 100 匹以上釣れました。11時 30 分に検寸を締め切り表彰に移ります。來田代表より大会挨拶と結果発表の記念品を渡して、大会は無事事故もなく盛況のうちに終了しました。

### 5/5「ジュニア水質調査講習会」

5月5日、南港魚つり園にて10時より「ジュニア水質調

査講習会」を実施。講師は川 村孝二さんです。

最初に風や気温、波の状態、海の色などを記録します。この日は緑っぽい色の海で、諸々の浮遊物が浮き、波は穏やか、風は西風微風。透明度は1.3mでした。次に器具を使っ



て水を汲み取り、水質などを調べます。表層水温=21℃/底の水温=17℃。表層塩分濃度=21‰/底の塩分濃度 31‰。

溶存酸素量は底で 6 mg/l。水素イオン濃度はpH7.5 でした。それらが何を意味しているのかを説明した後、青潮現象や大阪湾を見守ることの大切さなどをお話し、ジュニア水質講習会を終了しました。大阪湾の自然を考える人をがたくさん育ってくれることを期待しています。

(GW 報告:萱間・田隅・山下)

## 報告5

### 「釣り人による大阪湾の水質調査 21 年度報告と調査員研修」(5/5)

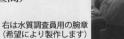
5月5日午後、南港魚つり園・NPO 控室にて、平成21年度の「釣り人による大阪湾の水質調査報告会」と平成22年度の「水質調査員研修会」を併せて実施しました。

平成 21 年度は定点調査員 10 名、調査回数 122、調査地 点 13 カ所です。前年度から約半分の規模になっていますが、「行政からの支援が全くなくなった状態で、費用のかかるこの調査を2年間やり続けてきたことは調査員の皆さんのおか げでありお礼を申し上げたい」と来田代表から挨拶がありました。

次に、調査データの読み合わせに移り、各地点での調査の 特徴を把握していきました。昨年度は割合早期から赤潮が出 ていたこと、7月と9月の初めに青潮まで至らなかったが非 常に強い貧酸素状態の地点があったこと、強い陸風が2日以 上続かなかったため風による湧き潮が出にくかったことが上げられました。また、貧酸素の地点がある中で、同じ観測日でも全く影響のない釣り場もあり、湾奥部定点観測の重要性も再確認しました。

平成 22 年度の水質調査の課題としては、この調査員のレベルを維持しつつ定点観測を継続することが上げられました。なお、平成21年度の「釣り人による大阪湾水質調査データ」

は釣り文化協会の ホームページからご 覧いただけます。(報 告: 萱間)





## 報告6

## 「みらい園のぞみ園釣り大会」(5/22)

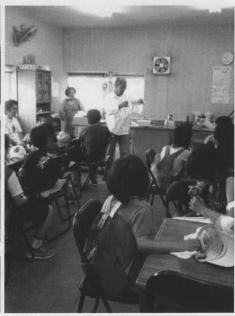
5月22日土曜日、大阪市立みおつくし会みらい園のぞみ園の釣り大会をサポートしました。対象はヘラブナ、場所は和歌山県橋本市清水にある隠れ谷池。座学を受講した14名と引率の先生4名が隠れ谷池に到着。紀州製竿組合組合長の和彦氏に、竹で作る釣り竿とヘラブナ釣りについての説明をしていただき、すぐに桟橋に出ました。

桟橋には仕掛けの付いた竿、竿かけ、 タモが準備されていました。サポート メンバーからエサの付け方、アタリの 取り方の指導を受けながら1匹目を釣 ろうと真剣にウキを見つめます。1匹 目は男の子がかけました。長さを測り 記録カードに記入。そのうち、あちこ ちで掛った!という声が飛び交いま

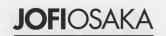
す。記録係の先生が忙しそうに魚の寸法を測り、カードに記入。途中、昼食を子供たちとサポートメンバーで一緒に食べました。1時過ぎに終了。当日の最長寸は32.0cm、枚数では8枚。全員が魚とのやり取りを楽しんでくれたようです。

当日のサポートは JOFI 大阪から 2 名、ヘラブナ釣り大学





から4名、紀州製竿組合から1名の計7名。子供たちに1匹でも多く釣らせようと支援していただき、大変お世話になりました。皆さんのご協力に感謝いたします。(報告:北大阪支部櫛田)





## 「大阪湾生き物一斉調査」を堺2区生物共生型護岸にて初開催 (5/29)



5月29日土曜日、第3回「大阪湾生き物一斉調査」(主催: 大阪湾環境再生連絡会/国土交通省)を堺2区・生物共生型 護岸にて実施しました。

この場所は昨年 12 月に出来上がった国土交通省の実験施設で、水深 4~5m の直立護岸に全長 127m の 3 種類の実験施設があります。調査実施を決めてから、あまり時間がなかったのですが、27 名の方が集まってくれました。

8 時半から釣りによる調査を行ないました。釣獲数はゼロでしたがこれも貴重なデータです。生き物調査は 10 時 30 分から始めます。調査には大阪湾海洋生物研究会から大谷道夫先生(海洋生物全般)と萩野哲先生(魚類)に来て頂き助かりました。

人工磯ではフジツボ類 (タテジマフジツボ、ヨーロッパフジツボ、アメリカフジツボなど)、カニ (タカノケフサイソガニ、チチュウカイミドリガニ、モクズガニ)、貝類 (マガキ、ムラサキイガイ) を採取しました。

びっくりしたのは人工干潟で採取した魚類の豊富さです。 イシガレイ、ヒラメ、ボラ、ウナギ、マハゼ、ヒメハゼ、ドロメ、 ミミズハゼが採取できました。エビ類でたくさんいたのがテ ナガエビの仲間でした。エビジャコ類の仲間が見つかりまし た。ヨコエビ類も多かったです。

12 時から水質調査を実施しました。水温=表層 20  $^{\circ}$   $^{\circ}$ 

取できたのは塩分濃度が低い水が表層にあるからです。

今回の一斉調査は大阪湾沿岸 14 カ所で行われ、その全体をまとめた結果発表会は 9月 23日に開催されます。

<釣り文化協会來田仁成より挨拶>

「砂浜の所でカレイが来たというのは驚きでした。今から約半世紀前のことを知っているのは多分私ぐらいのものだろうと思うのですが、大和川の河口に砂浜がありまして、ちょうど今頃の真夏になる以前、風が爽やかですと子供たちが大和川の川沿いの砂浜へ遊びに来まして、親指のツメぐらいから木っ端ぐらいのカレイを捕まえて遊んでおりました。それからキスの子、ハゼの子、様々な小魚を捕まえて遊んだ記憶があります。そういう意味でこの場所と言うのは大和川の河口の再現といってもよろしいのではないかと思います。先程子供たちが遊んでいる場面を見て大変懐かしくなりました。

生き物の調査やあるいは魚の釣果を通じて、この先に釣り 公園を作っていただきたいということをしきりにお願いして いるのですが、そこに続く場所という意味合いも含めて、こ の手の調査を継続し、ここを保存してもらう。そういう運動 のための基礎的なデータ作りというふうに考えて今回の調査 に協力させていただいた次第です。

今回は手始めに大阪湾にわずかこれだけの砂浜ですけども、何とかこのまま利用できる形で残していけたらという願いを含めて、これからもご協力のほどをお願いいたします。」 (報告:萱間)

淀川わんどクリーン大作戦」(7/19)

7月19日月曜日海の日、平成22年度の「淀 川わんどクリーン大作戦」が国土交通省淀 川河川事務所の主催で行なわれました。今 回で 24 回目のクリーン作戦ですが、暑い 中にもかかわらず 300 名近い参加があり、 JOFI 大阪からは 13 名の参加となりました。 場所は淀川河川敷・城北ワンドです。先日 の大雨のため、かなりのゴミがあると思っ ていましたが、流されたのか、前年よりは 少なかったように思いました。(報告:北河 内支部奥野)





## うきまろファミリーフィッシングデー」に協力 (7/24)

7月24日、大阪南港魚釣り園で開催された「うきまろファ ミリーフィッシングデー」に協力しました。この催しは夕刊フ ジ主催で7月から 10 月にかけて阪神間にある4か所の海釣り 公園で計4回行われるファミリーフィッシングデーの第1回

目。当日の参加者は16ファミリー・50名。釣りが初めての方 も多く、釣り仕掛け・釣り方・釣り場のマナーについての説明・ 指導という役割で JOFI 大阪の釣りインストラクターが参加し ました。(報告:田隅)

## 「大川清掃&生き物調査」に参加(7/31)

7月31日土曜日、おお川水辺クラブの活動に参加してきま した。場所は大川。桜宮駅の近く、旧貯木場跡の池の周りです。 この場所は大川に残っている最後の自然環境だと言われていま す。ここに府の方針で人工砂浜が作られるという計画案が上

がっているのですが、「生き物のいる水辺」も守っ て頂きたいと思い、今回参加した次第です。

まずは 1 時間ほど水辺の掃除です。水に落ちた ゴミがそのまま残されていたものがたいへん多く、 90L ゴミ袋の 3 袋と、イスやタイヤなどの粗大ゴ ミが集まりました。

生物調査では、ボラ、ブラックバス、タイリク バラタナゴ、ブルーギル、ウグイ、オイカワ、コイ、 ハゼを採取。他にガニ、ササノハガイ、イシガイ、 ヒメタニシなどが確認されました。

今回は本部事業でも支部事業でもなく、有志による参加です が、このような近所で行なわれる「水辺を守る活動」には今後 も積極的に参加したいと思います。広報部からも個人活動の報 告もぜひお寄せ頂きたくお願いしておきます。(報告:萱間)





ただきたいと考えています。

テーマは自由です。エッセイでも、

ポエムでも

メールは chinunoumi@jeans.ocn.ne.jp 来田仁成宛 以上よろしくお願いいたします。

送り先=〒5770804 いただきますので、 東大阪市中小阪1 5 20

文集の編集長は來田仁成代表に担当して 原稿も來田代表宛にお送りく

もの」というタイトルでお書きください くお願いいたします。 こ相談させていただきたいと思います。 テーマが絞りきれない方は、 仮タイトルは、 集まった内容を見て、 締切は、一応十一月末日までとします。 文集「つりごころ」としておき 文集の予算を次期年度で 「将来に残したい

す。各人の釣りに対する思いを何かの形で語って

ただいたり、写真を見せていただくのも楽しみで

評論でも結構です。

イラストで思い出を書いてい

しますので、ぜひ一人一原稿、

お送りいただきた

インストラクターの皆様全員に原稿ご依頼いた

思っていることなど、様々な の思い出や、感動した出来事、 クターの皆様が、日頃、 こと、考えていること、また、 JOFI大阪広報部では、 釣りに対して感じている 公認釣りインストラ 「思い」をお話しい 人生を変えた釣り 将来に残したいと

### JOFI 大阪本部事業 今年度後期活動のご案内

### 堺2区「フィールド環境調査」(釣獲調査・水質調査・生き物調査)

日程:夏期調査(8月26日・木)

秋期調査(調整中) 冬期調査(調整中)

場所:堺市堺区匠町・堺2区国土交通省生物共生型護岸実験施設

時間: (夏期調査) 釣獲調査 8:30~11:30、水質調査 11:30~、生き物採取調査 12:00~13:30 (秋期および冬期調査の時間は未定です)

主催: 釣り文化協会

後援:国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所

内容: 釣り文化協会では堺2区埋立地の環境対応型親水域(釣り公園等)の設置に向けて、国土交通省の協力を得て堺2区の生物共生型護岸実験施設にて「フィールド環境調査」を実施します。この事業に JOFI 大阪が全面協力いたします。生物共生型護岸は昨年12月に設置されたもので、今年5月に「大阪湾生き物一斉調査」として第1回目の調査を実施しましたが、稚魚の育成場として多くの生き物が観察できました。普段はフェンスで囲まれた場所で立ち入りはできませんが、今後の釣り場拡充に向けて釣獲による調査データを揃えることも重要だと考えています。ご協力をお願いいたします。

### 第3回「大阪湾生き物一斉調査」結果発表会

日程:9月23日(祝日)

場所:長居公園内「大阪市立自然史博物館」講堂 …結果発表会のみに来られる場合は通用門からお入りください(無料)

時間: 12:30~17:00 (シンポジウムは 14:00~16:00 予定)

主催:大阪湾環境再生連絡会(事務局=国土交通省近畿地方整備局)

内容:5月29日を中心に大阪湾岸14カ所で実施した「第3回大阪湾生き物一斉調査」の結果発表会です。各地で採取した生物の正式な名前、数量と分布の傾向、そこから読み取れる大阪湾の生物環境とはどのようなものか。各地区の調査担当者からの現状の紹介と専門家による分析発表が行なわれます。各地点での生物の生息状況は、釣り場のデータとしても貴重です。お気軽にご参加下さい。

### 南港魚つり園「ととの日釣り大会」

日程:10月10日(日) 場所:大阪南港魚つり園 時間:8:30~12:00

主催: 釣り文化協会・JOFI 大阪

内容: 釣り人同士が仲良くなることが主旨の釣り大会です。当日来園された方全員が参加できます。各魚種ごとに賞を設ける予定ですが、商品はたいした物ではありません。この日は大会の運営と釣りの指導を行ない、併せてて「ジュニア水質調査講習会」も実施する予定です。まだ指導員の経験が少ないインストラクターの方にとっても実戦で学べるよい機会だと思います。ぜひご参加ください。

### 第 5 回「大阪湾 53PickUp!」清掃大会 ~チャリティー釣具大交換会&ランチパーティー開催!~

日程:11月7日(日)

場所:貝塚人工島F岸壁に集合(清掃エリアは貝塚港~泉佐野港)

時間:8:00~13:00

主催:釣り文化協会・水辺基盤協会・環境教育技術振興会

内容:参加費無料(清掃費用捻出のため「チャリティー釣具大交換会」を開催しますので、参加される方は、使わなくなった釣道具を1点以上お

持ちください。1点につき交換券1枚をお渡しします(一人5点以内)

進行予定:8:00~8:15 受付

8:15 開会式と班分け 8:30~10:30 各地区で清掃活動

10:30~11:00 ゴミ分別と記念撮影

11:00~13:00 チャリティー釣具大交換会&ランチパーティー開催

清掃活動に参加した人だけのスペシャルな企画です! 参加者の出品釣具だけでなく、各社から出品された釣具を 交換券でゲットできます。ランチパーティーには豚汁、タコ、タチウオ、アユの天ぷら等を準備しています。

14:00 終了予定

参加申込:保険加入等の準備がありますので、参加できる方は出来る限り事前にご連絡ください。

お名前・住所・連絡先を釣り文化協会事務局まで。FAX 06-6358-4445 /メール jimukyoku@turibunka.or.jp

問合せ先 大阪湾 53PickUp! 実行委員会 (萱間 tel06-6358-4414 または山科 tel06-6714-4999)



JOFI 大阪では通年事業として、「大阪湾の水質調査」、「大阪南港における初心者巡回指導」への全面協力を行なっています。水質調査員は常時募集していますが、現在調査員が減少している状況ですので、新たな参加を切望しています。お仲間をお誘いください。また日程は調整中ですが、「釣り場の緊急安全講習会」を今年度末または来年度はじめに南港魚つり園にて実施予定。ご協力をお願いいたします。





公認釣りインストラクターを募集します!

## 平成 22 年度大阪会場 インストラクター講習会及び資格試験のご案内

■公認釣りインストラクターとは?

### 制度発足までの経緯

1. 公認釣りインストラクター制度の実施主体である社団法人全日本釣り団体協議会(以下()社会釣り協という)は、農林水産省を主務官庁として、昭和46年に発足。釣りの健全な発展と漁場利用問題の解決、漁業関係法規の周知、自然環境の保全、水産資源の保護等を目的として全国的に活動を続けている。各都道府県釣り団体協議会と、それぞれの釣りを専門とする広域団体によって構成され、我が国唯一の公認された全国規模の釣り人団体である。

2. 平成元年 5月 30日、| ( ) 日、| ( )

3. 平成 4年度から、制度推進のための助成金が計上された。同時に上記指導員制度を、公認釣りインストラクター制度と名称を改めた。その後実施要綱、受験資格、公認釣りインストラクター検定基準、研修規定等を定め、正式に農林水産省の指導のもとに補助事業として発足した。

4. 公認フィッシング・マスター制度

平成9年度から公認フィッシング・マスター制度が新設された。その目的は、現行の公認釣りインストラクターに対し、「活動全般の指導」と「資源の保護、環境の保全」に関する情報等を提供し、公認釣りインストラクターを通じて広く釣り人に周知徹底を図ることとしている。公認フィッシング・マスターの受験資格者:公認釣りインストラクターとして3年を経過した者。

### 制度の日的

四面海に囲まれ、水量豊かな湖沼河川など自然環境に恵まれた我が国において、健全なレクリェーションとして、あるいはエコロジカル・スポーツとしての釣りを楽しむ人々の数は、第 11 次漁業センサスに依ると海面で年間延べ 1197 万人、内水面で年間延べ 958 万人に達する。これら釣り人は、年々人口が都市に偏在化する傾向のなかで、自然を求めてさらに一層広がりつつあり、今後、特に女性、青少年を中心とする初心者層の増加が予想される。ところが釣り場を取り巻く自然環境は、周知のように年々悪化するとともに、釣りのマナーの低下、ルールの認識欠如は釣り場環境の破壊をもたらし、魚介類の減少、藻場の消滅、釣り場でのゴミ投棄等の問題が顕在化するに至っている。このような時期にあたり、広く一般の釣り人に対し釣り技術とあわせ水産資源の保護、釣り場の環境保全、釣り場での安全確保、釣り場でのマナー・ルール等の指導を行う者を育成することにより、自然環境の保持をはじめ、漁業とのトラブルや海難事故の発生を防止し、釣りの健全な発展に資することを目的としている。

### 事業実施団体

社団法人全日本釣り団体協議会 〒102-0083 東京都千代田区麹町6丁目4番地麹町ハイツ505号

- ■平成 22 年度公認釣りインストラクター資格制度のあらまし
- (1) 公認釣りインストラクター資格区分
  - ①海面:船釣り・磯釣り・投げ釣り・ルアー釣り

内水面:渓流釣り・清流釣り・止水釣り・疑似餌釣り

- ② 20 歳以上誰でも受験可能
- (2) 資格試験合否決定:平成23年1月予定

## 大阪会場インストラクター資格講習・資格試験

受講受験申込:平成22年10月4日(月)~平成23年1月14日(金) 受講受験日時:平成23年1月22日(土)~平成23年1月23日(日)

> 22 日(土)9:00 ~ 17:00 受付開始 8:30 23 日(日)9:00 ~ 17:00 試験開始 13:00

受講受験場所:ヒューマンアカデミー大阪心斎橋校(大阪市中央区南船場 4-3-2 御堂

筋 MID ビル 10 階)

受講・受験費用: 20,000円(受講料 10,000円+受験料 10,000円) 合格された方は他

に登録料が必要です

振込期限: 平成23年1月14日(金)

受講料・受験料・登録料等の振込先: 郵便振替口座番号 00140-5-107386 (口座名義: 社団法人全日本釣り団体協議会)

問い合せ・申込先: 社団法人全日本釣り団体協議会 (102-0083 東京都千代田区麹町 6-4 麹町ハイツ 505 Tel03-3265-4191 / Fax03-5275-7077)

※資格試験は他に東京会場(10/23-24 開催)、静岡会場(12/4-5 開催)にて実施します。

【申込書】平成22年度の公認釣りインストイラクター講習会の詳しい案内と「受講・受験申込書」は、社団法人全日本釣り団体協議会(上記住所)にお問合せの上、郵送してもらって下さい。または全釣り協のホームページからダウンロードhttp://zentsurikyou.com/boshu/h22boshuyouko.pdfして入手して下さい。

	東	京	静岡	大 阪	受清受験者引	
公認 釣り 受講・ 社団法人 全	受験申述	込書 ()	匹成 22 年	度)	1. 維5~ 2. 本人市	広 階 付 6 cm 横4~5 cm 中、上半年 ッ月以内のもの ブ不可
※申込日	平成	q:	Л	Н		
※受講・受験区分 (どA-Sube-Cricで割り)	海面	<ul><li>内力</li></ul>	CIHI	受講・受験地	東京・	静岡・大阪
<ul><li>※ ツリガナ</li><li>※ 氏 名</li></ul>				#	※性 別	男· 女
※ 生年月日	昭和 平成	作	П	日生	※年 齢	(16821973 Has 819V)
※フリカナ	(平 ) 「独物名・部局参号も記入して下さ 都道 狩私					
	₩ TEL	FAX				
	E-mail			技術電流		
7 4 4 4						
勤務先	会社名等					
並飾りの	TEL			FAX		
得意分野						
所属釣り団体 (会名・クラブ名)		※ 釣り			り経験	年
	in to in his	したか		クーネット		ラブ
※この講習会を	IN CARS &		6. 友人	•知人 7	- その他(	)

ADA

http://www.zenturi-jofi.or.jp

